

# Global Education Network for Sustainable Future Hiroshima (GENS)

～ グローバルな視野とローカルな視点からの学び ～

Newsletter No.13

2019.11.17

## 地球市民共育塾ひろしま

事務局

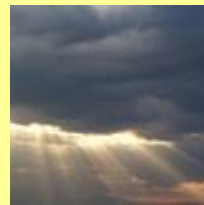
kyoikujuku.hiroshima@gmail.com

URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>

〒730-0036 広島市中区袋町6番30号  
広島市まちづくり市民交流プラザ内 メールボックスNo.7



Have a Dream...  
Do the Action  
for  
the Better Future!



<https://www.facebook.com/pg/kyoikujuku.hiroshima/posts/>

世界中の人々が一人ひとり幸せに生きられる。そんな社会を願う人々が出会える「学び」と「行動」の場です。「貧困」「難民」「食」「平和」「ジェンダー」「教育」。取り扱うテーマも十人十色。これらの参加型の学びあい・ワークショップの開発、教材開発に関心ある方、定期的に学習会を開いています。どなたでも参加できます。

～ あなたも地球市民共育塾ひろしまで一緒に学びませんか？ ～



## SDGsの17の目標

この右のマーク(アイコン)を見かけたことはありますか？

これは、持続可能な開発目標 SDGs (エス・ディー・ジーズ)の17の目標を視覚的にわかりやすくアピールするために、国連が作成したアイコンです。

SDGsとは、国連が、2030年までに世界の貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにすることを目指して、世界の人々に行動を呼びかけているものです。



出典:SDGs17の目標アイコン [https://www.unic.or.jp/files/sdg\\_poster\\_ja.pdf](https://www.unic.or.jp/files/sdg_poster_ja.pdf)

アイコン使用のガイドライン [https://www.unic.or.jp/files/SDG\\_Guidelines\\_AUG\\_2019\\_Final\\_ja.pdf](https://www.unic.or.jp/files/SDG_Guidelines_AUG_2019_Final_ja.pdf)

## 今年開催したワークショップ等の概要

**地球市民共育塾ひろしまの活動**：地球規模で起きている様々な問題を自らの課題として学び、具体的な国際理解・協力・支援につながる活動を展開していく。また、そのための有効な手段としての参加型ワークショップの普及とファシリテーターのスキルアップを図る。（地球市民共育塾ひろしま 主催/県立大学 人間文化学部 富田研究室 共催）

### 3月30日(土) 公開ワークショップ SDGsと地域～地域の未来創生～



SDGsに地域で取り組む意義を考える

「SDGsと地域～地域の未来創生～」ワークショップ  
ファシリテーター 松原 裕樹(まつばら ひろき) さん  
特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター専務  
理事・事務局長；EPO ちゅうごく・中国地方 ESD  
活動支援センター事務局長

会場：サテライトキャンパスひろしま  
目的：SDGsの基礎や体験するワークショップについて  
理解する。/SDGsに取り組む意義やその可能性を実  
感する。/交流や相互啓発を通してノウハウやエネルギー  
を高め合う。 参加者 30人

- アクティビティ：1) こんにちは、よろしく！  
2)これだけは知っておきたいSDGsの基本  
3)SDGsを通して広島課題を考える  
4)ふりかえり・わかちあい・もちかえり

### 「世界一大きな授業」ワークショップ

ファシリテーター 岡田 祐一

地球市民共育塾ひろしま

会場：サテライトキャンパスひろしま

目的・概要：SDGsの目標4「質の高い教育」を取り上げ、それを掲げた背景にある世界の教育の現状を知り、世界100カ国以上の子どもたちと同時期に、教育の大切さについて考える参加型の授業を行う。県立広島大学から外務省主催 JENESYS（青年交流プログラム）インドネシアから帰国した大学生も一緒に参加。

参加者 30人

アクティビティ：クイズ、識字(シミュレーション)、ちがいのちがい、ふりかえり・わかちあい・もちかえり

### 5月25日(土)世界一大きな授業



ワークショップ後、インドネシア訪問報告会を開催

## 6月・7月第4土曜日

### 「参加型で学びあう多文化共生と開発教育ループリック」(会員向け勉強会)

6月例会：開発教育系ワークショップ教材を評価するためのループリックのたたき台を検討しました。

7月例会：前半 多文化共生教育に役立つ参加型授業・ワークショップ教材の紹介とミニ体験。

後半 前月のたたき台について、さらに検討を進めました。

## 8月第4土曜日

9/28 広島県ユニセフ協会開催の「ユニセフ講座 SDGsとわたしたちの暮らし Part 2」のオリジナル教材を用いたリハーサル (講師派遣) (会員向け勉強会)

## 9月28日(土)「ユニセフ講座 SDGs とわたしたちの暮らし Part 2」



次の第2回は来年2月8日(土)13:30~16:30  
「チョコレート工場の秘密」ワークショップ  
ファシリテーター 岡田 祐一(共育塾)  
参加お申し込みは、広島県ユニセフ協会まで。

### 「ユニセフ講座 SDGs とわたしたちの暮らし Part2」

2回連続・第1回 「15年前の世界と未来(2030年)の世界を考えよう」  
ファシリテーター 小松 真理子

(地球市民共育塾ひろしま/略称 共育塾)・

富田 和広(県立広島大学人間文化学部教授)

会場：サテライトキャンパスひろしま

第1回の目的と概要：2015年のSDGs採択以前から世界的な課題(温室効果ガス、生物多様性、貧困と飢餓、戦争・紛争など)に対して様々な世界会議が開かれ、目標が設定されてきたが、果たしてその目標は達成できたか？国内外のデータから読み解く。そして15年前の過去・現在・未来(2030年)のタイムラインの中で、未来の社会を想像し、今必要なアクションプランを考える。 各回 定員40人

### 紀行 「ルワンダ 2019年 平和構築スタディツアー」(アイ・シー・ネット(株)主催)に参加して

ルワンダで1994年4月から100日間、80万人以上(一説に犠牲者数100万人とも)の人が同じ国の人たち、隣人によって殺された大虐殺/ジェノサイドがありました。今年4月29日~5月6日まで、このスタディツアーの目的に掲げられた「国レベル、政策レベルより、対立・紛争の当事者である「人」に焦点を当て、虐殺の当事者たちがどう平和を見出し、和解に至ったか、ストーリーを聴き、どのように「和解の道」に至ったかを学ぶ」ことに強く惹かれ、特に「平和と和解とは何か？」を現地で、ルワンダの文脈から学びたいと思い、参加しました。このスタディツアーでは、2005年以来、現地でNGOや住民と協力しながら、虐殺当事者間の平和と和解を支え促す息の長い活動を続けておられ、PIASS(プロテスタント人文社会科学大学)で、平和・紛争研究科の設立・発展に尽力して来られた教員の佐々木和之さんと、PIASSのルワンダと日本と近隣の紛争経験国の学生さんや院生さんたちと一緒に、佐々木さんのプロジェクト現地を訪問しました。佐々木さんご夫妻、プロジェクトに参加されている学生さん、各訪問先の住民の方々からお話を聴き、交流をする中で気づいたことは、「平和は人が人として生きていく上で基盤となる重要不可欠なものだが、同時になんと壊れやすいものか(!)」「憎悪や疎外感が人を分離させる。単に目に見える暴力がないだけでなく、人が人としての尊厳をお互いに尊重しあい共に手を携えて生きていける社会を、不断の努力と対話によって創りあげていくことが平和を築くことではないか？」加害者もまた、四半世紀トラウマに苦しみ、心の深い傷に苦しんでいるのを見ました。「周りの人の息の長い支えを得て、正直に、そして家族や隣人の前で罪を告白し、赦しを心から請うことから和解の道が開けてくる。しかし人間として日々、同じ村の中で様々な人と生きている以上、軋轢もあり、様々な困難がある。しかし和解は本当にそこにあった。まだ和解に至っていない当事者は、それができると信じるのが希望につながり、人間の信頼-人間性の回復につながっていく...」一人ひとり異なるタイミングがあり、まだ消化しきれていないことも多い、しかしとても貴重な体験でした。

前回2016年2月、NPO法人「ルワンダの教育を考える会」の代表で、ご自身3人のお子さんとジェノサイドを生き抜いたマリールイズさんとのスタディツアーでの体験を通して、ジェノサイドがなぜ起きたのか？ルワンダの植民地時代前から現在に至るまでの歴史と教育を集中的に学びました。ツアー後、数年来支援してきた学校への訪問とホームステイで人々の生活の一端に触れたり、当時発表された新カリキュラム検討会議のメンバーでもあるルワンダ教育庁(REB)カリキュラム局長、ジェノサイドと戦う国家委員会(CLING)事務局長、国家統合・和解委員会(NURC)の地域コーディネーター、またNGOイーシストラストのキガリ事務所長にインタビューする機会もあり、短期間の訪問だけれど知っていると思っていましたが、それは表面的な事であったと実感しました。持続可能な平和を築くために学びを掘り下げ、深めたいと思います。

地球市民共育塾ひろしま 服部 淳子

# 「地球市民共育塾ひろしま」のご案内

Global Education Network for Sustainable Future Hiroshima (GENS)

## ■「地球市民共育塾ひろしま」(略称・共育塾)とは

Have a Dream, Do the Action for the Better Future !

「貧困」「難民」「食」「平和」「ジェンダー」「教育」…。取り扱うテーマも十人十色。世界の人々が一人ひとり幸せに生きられる。「地球市民共育塾ひろしま」は、そんな社会を願う人々の「出会い」と「学び」と「行動」の場です。

地球市民共育塾ひろしまは、開発教育やESD(持続可能な開発のための教育)の学び合いを目的とした市民のグループとして、2005年5月に、学生中心のグループであった旧「地球市民共育塾ひがしひろしま」を改組して、「地球市民共育塾ひろしま」としてスタート、今日に至っています。

## ■開発教育とは

世界で起きている貧困・飢餓、紛争・戦争、環境破壊、人権侵害といった問題は、日本の社会のあり方や私たちのライフスタイルとも深く関わっています。また日本にも同様の問題が存在しています。開発教育は、私たちひとりひとりが、このような世界のさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。

開発教育では、学習者が自ら答えを見出していくプロセスを重要視し、そのためロールプレイ、ディベート、ランキング、フォト・ランゲージ、シミュレーションなどのようなワークショップ(参加型学習)と呼ばれる手法を用いています。

地球市民共育塾ひろしまは、地域課題に根ざした参加型の開発教育教材の作成にも取り組んでいます。

## ■みなさんも参加してみませんか

共育塾では、教材づくり以外にも、連続講座の実施、広島市の「まちづくり市民交流フェスタ」へのワークショップ企画参加や「国際フェスタ(旧名:国際交流・協力の日)」へのブース出展、他団体との協働事業などや、セミナー等への講師派遣なども行っています。また、共育塾ではメーリングリスト会員制度もあり、教職員、会社員、国際協力関係者、NGO や地域活動関係者、研究者、大学生・院生など多様なジャンルの方々100人以上に登録していただき、情報交換の場を開いております。ご関心あるみなさまのご参加をお待ちしております。御連絡ください。

## ■ご報告

今年(2019年)5月、共育塾の事務局代表を務めております中須賀が、DEAR(開発教育協会)から永年会員(25年)の表彰をしていただきました。右の写真がその表彰式の模様です。長年、活動を続けてこられたのも皆様方のお力添えがあったからです。感謝申し上げます。



■役員 代表 : 荒川純太郎 (共生庵・地球市民共育塾共同主宰)

事務局代表 : 中須賀 裕幸 服部 淳子

教材づくりグループ担当 富田 和広 岩下康子

### ■刊行物

- ・『地球市民共育塾ひろしま年次報告』(No.1~No.5)。
- ・『中国地区 開発教育担い手連携・スキルアップ連続講座 報告書』。
- ・教材集『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』
- ・研究成果報告書『広島の開発教育・ESD』
- ・教材集『参加型で学ぶ「広島と多文化共生」』

■ホームページ URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>

■メール : [kyoikujuku.hiroshima@gmail.com](mailto:kyoikujuku.hiroshima@gmail.com)

■問い合わせ先: 〒730-0036 広島市中区袋町 6 番 36 号

広島市まちづくり市民交流プラザ内 メールボックスNo.7

